

令和元年度 モニタリング結果

1 令和元年度 委員モニタリング結果

【参考】優れている:4点 適正である:3点 やや劣っている:2点 劣っている:1点

評価項目	No	評価基準	項目 平均値	コメント(理由・課題等)
(1) 経営状況	1	図書館の収支のバランス、支出は適切か	3	
(2) 基幹業務	1	カウンターサービスは適切にされているか	3	窓口での対応は適切に行われている。
	2	予約リクエストサービスは適切にされているか(予約リクエストの案内、相互貸借の案内、類書案内等)		
	3	レファレンスサービス・調査相談室の運営は適切にされているか		・検索能力に差があるように見受けられた。 ・県立図書館やTRCのスタッフ対象の研修を受講するなど、スキルアップを図っている。
	4	移動図書館サービス(定期巡回、アウトリーチ活動)は適切にされているか		HPを見る限りでは、適切である。
	5	映画会や各講座、イベント等の集会活動は適切にされているか		様々な主催・連携行事が活発に実施されている。
	6	カフェルーム、閲覧席、研修室、コミュニティ等の部屋が活用されているか		
(3) 選書	1	蔵書状況・選書・蔵書構成は適切か、分類に偏りがなく蔵書されているか	3	・昨年より、バランスが良くなった。 ・人文・社会・自然科学がバランスよく構成されている。
	2	館内の本の展示、ポップ等での本の紹介、読みたくなるような工夫が適切にされているか		・ウケイタウン分館の入口すぐの展示コーナーはおもしろい。 ・新刊やYAコーナーなどで目を引く展示がなされている。
(4) 広報	1	利用者への図書館サービスの情報発信・イベント等のPRは適切に行われているか	3	YA向けの広報誌「本だらけ」の記載内容が2か月同一であったのではないかと。(→発行:2か月ごと)
	2	未利用者に利用を促すための広報活動、PRの工夫が適切に行われているか		毎月の図書館だよりや各種行事の案内チラシが適切に発行されている。
	3	施設周辺及び館内の利用案内等はわかりやすく工夫されているか		新図書館システムの導入に伴い、ホームページもリニューアルされ、見やすくなっている。
(5) ITを活用した図書館サービス	1	電子図書館の運用について評価できるか	3	・電子図書館での検索の方法がもう少し工夫がほしい。また電子図書館の選書のコンセプトが分かりにくく、もう少し幅広くバランスよく選書を求めるが、難しいと感じる。 ・利用者カードと申請を一本化(8月~)したことで登録者数は大きく伸び、閲覧数も増加している。
(6) 子どもの読書活動推進	1	子どもへの資料(絵本、紙芝居等)提供は適切にされているか、児童室、絵本コーナーにおいて、子ども向けにわかりやすい案内がされているか、資料は過不足なく蔵書されているか	3	・子どもさんが楽しそうに本を探していたので問題はない。 ・本館児童室の蔵書は充実しており、見た目も分かりやすい。
	2	おはなし会、子ども向け各種行事の開催回数は妥当か、または適切にされているか		ボランティアの協力もあり定期的に開催され、定着している。
	3	ヤングアダルト向け資料の充実と読書環境の整備は適切か		・前回(昨年)より充実していた。その場で読むより、家で読む方が好ましい年代ではと思う。 ・三田学園との連携展示や図書館だより、ブログなどで活発に紹介されている。
	4	読書通帳の運用(案内、PR等)について評価できるか		「子供の読書活動優秀実践図書館」に係る文部科学大臣表彰を受けるなど、その成果は高く評価できる。

(7) 学校連携	1	調べ学習の取り組みや団体貸出等について評価できるか	3	<ul style="list-style-type: none"> ・団体貸出は今よりもっと積極的に行ってほしい。 ・幼児向け図書について、一時大量の貸出がされている場合があるが、先方の運用状況を把握した方がよい。 ・調べ学習の取り組みとして講座や出張授業、相談会などを積極的に開催し、コンクールの応募作品も高い評価を得ている。
(8) 高齢者、障害者、外国人の読書環境づくり	1	高齢者の読書環境づくりをすすめているか(大活字本コーナーの充実)	3	日本の小説を中心として各館に一定数配架されている。
	2	障害者の読書環境づくりをすすめているか(点字・録音図書の貸出、対面朗読等)		<ul style="list-style-type: none"> ・スペース(空間)としては、もっと欲しいところだが、努力されている。 ・点字・録音図書目録に分類別策引がないため、前ページをチェックすることになりはしないか。データは更新されているが見た目はほとんど利用されていないように感じた。 ・自館資料だけでなく相互貸借制度を用いてカセットテープ・デジ資料なども毎月コンスタントに提供している。
	3	外国人の読書活動づくりをすすめているか(多言語資料の収集)		<ul style="list-style-type: none"> ・本は昨年より増えて良かった。 ・外国図書は文学作品中心で、日本人向けの西欧・中国関係資料に偏っており、ユニバーサルという点では不足している。
(9) ボランティアとの協働	1	図書館関係団体・各ボランティア団体との協働において情報共有や連携した活動が適切にされているか	3	郷土史関連団体や、読み聞かせ・紙芝居、本の修理、障害者サービス等のボランティアとの連携が行われている。
【自由記述欄】※今年度テーマ「高齢者、障害者、外国人等の読書環境づくり」に関する評価について自由記述欄にご記入ください。				
<p>【自由記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進んでいる中、児童書の貸出が増加傾向にあることは評価できる。 ・休日、雨の日に調査に行ったが、子どもが多くて喜ばしいと思った。雨の日企画の様なものがあったら良いと思った。通帳ポイント2倍など。 <p>【テーマ記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子図書館資料の読み上げや拡大表示機能は、高齢者の読書活動を援助できるので、講習会を開催してはどうか。 ・昨年より、障害者の方、外国人の方への本が充実してきつつある。 ・本棚と本棚の間が、車イスでは少し狭いと思うところが若干あった。 ・三田市在住の外国人へのサービス・サポートは、規模的・予算的に図書館単独のイベントや資料収集では効率が悪いので、三田市国際交流協会やボランティア団体へのサポートを中心として、ニーズの把握による効果的な活動が必要となる。 ・著作権法上、利用対象が視覚障害者に限定されない朗読カセットについては、一般利用を可能とすべきである。 				

2 令和元年度 事務局モニタリング結果

調査日: 令和2年3月5日(木) 調査員: 事務局2名

調査結果

	評価項目数	評価方法	満点(a)	評価点(b)	得点率(b/a)	総合評価
本館	25	4点満点	100	74.3	74%	B(適正)
藍分室	16	4: 優れている 3: 適正である	64	48	75%	B(適正)
ウッディタウン分館	16	2: やや劣っている 1: 劣っている	64	48	75%	B(適正)

<得点率> <総合評価>
 概ね85%以上・・・ A(優良)
 概ね70%以上・・・ B(適正)
 概ね55%以上・・・ C(要努力)
 概ね55%未満・・・ D(要改善)